

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2018年12月2日公開
(日本時間 12月3日午前3時～＝イスラエル時間 12月2日午後8時～)

皆さん、シャローム！こんばんは。アミール・ツアルファティです。ガリラヤ湖周辺のティベリアスより、中東時事アップデートを行っています。

まずはお祈りをして、それからこの数日の間に、ここイスラエルと中東で起こった事を見ていきます。

お父様、感謝します。

あなたは、あなたの子どもたちが暗闇にいることを好まず、あなたの恵みによって、宣言されました。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。』と言う。

(イザヤ 46:10)

ですから、私たちはあなたに感謝します。あなたは、その恵みによって、あなたのご計画を預言者達に明かされ、そして、あなたの預言者達を通して、私達全員に、あなたのご計画を明らかにされました。

お父様。どうか私達に見る目と理解できる心をお与えください。

そして、私達の心の目を開いて、イスラエルを、あなたの御言葉の不思議を見るようにしてください。

あなたに感謝し、あなたの御名を祝福します。今夜、2000年前に福音の三分の二が起こった地、ガリラヤより、ここで、

2 やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見ました。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照りました。

(イザヤ 9:2)

ですからお父様。今夜、外は暗いですが、あなたの光、世の光が、私たちの人生、私たちの心を照らしますように。

それによって、あなたが私たちに言われた通り、私たちが世の光となり輝くことが出来ますように。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

ご自身を世の光として宣言し、それを証明された方、イエシュア、イエスの御名によってお祈りします。

アーメン

アーメン！

ありがとうございます。皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。

ニュージーランドでご覧いただいていますね。ブリティッシュ・コロンビア、カナダ、デンマークの人もいます。現在、たくさんの方がご覧になっています。ところで、今、フェイスブックで、1万人がこれを見てると出ています。恐らく、15から20カ国、アメリカのほぼ全部の州でご覧いただいています。東南アジアでは、時間がかかり遅いことも理解しています。しかしながら、後でご覧いただけると信じています。

まず、これをご覧になっているユダヤ人の皆さんへ、ハヌカ、おめでとうございます！
それから、ユダヤ人でない方達は、きっと、ハヌカについて知りたいのではないのでしょうか。
ユダヤ人たちは、紀元前2世紀に起こったことを記念して祝っています。
ユダヤ人のマカバイが、ギリシャの將軍達を土地から追い出し、独立宣言をしました。
これはもちろん、イスラエルが長年、異国の皇帝アンティオコスに置かれた後のことで、ゼルバベル、エズラとネヘミヤに導かれて、ユダヤ人たちは故国に戻って以来、彼らは、まだ自由ではありませんでした。
彼らはまだ独立しておらず、ペルシャの支配下にあつて、その後ギリシャが来ます。
そして、ギリシャのアンティオコス・エピファネスが神殿を汚し、エルサレムの神殿の祭壇で豚を屠りました。これは、ユダヤ人には耐え難く、彼らは、大反乱を決意します。
その全てが、紀元前168年、167年、166年に起こります。
あらゆる敵に反して大勝利が起こり、そしてごく小さな、圧倒的に少数で、とても弱い“負け犬”と言いますか、彼らが勝ち、最終的にはギリシャを追い出しました。
そして彼らは、直ちに、神殿を再びきよめるために、神殿に入りました。神殿は、汚れ、冒瀆され、神殿は、汚れた動物の汚れた血でいっぱいでした。
そこで人々が見つけたのは、一つの小さな油の瓶だけ。それは、一日火を灯すには十分でしたが、伝説は、奇跡的に小さな瓶が、8日間ももったのです。
そのため、ユダヤ人はそこから、8日間の冬の祭日を記念して行うようになり、それを、「宮きよめ祭り」を意味する「ハヌカ (חנוכה)」と名付けました。神殿のきよめ直しです。



西壁で、5本目のろうそくを点灯するネタニヤフ首相。右端はフリードマン米大使

この興味深いのは、皆さんの多くが、疑問に思っているでしょう。
神殿のメノラは七つの枝があり、聖書的なメノラも、枝が7本であったことを示す、多くの証拠がある。
なのに、ユダヤ人の家には、九本の枝のある枝付き燭台がある。
これは全て、この祭日にまつわるものです。ユダヤ人は、通常、日常的にはメノラに火をつけません。
しかしこの祝日には、ユダヤ人達はそれぞれの家庭、特に、子供のいる家庭では、一本のロウソクを使って、毎日一本ずつ火をつけていきます。
真ん中のロウソクは、次々と火を灯していく為に使われ、それを毎日、さらにもう一本ずつ灯していきます。
ですから、この祭日の8日目には、火を灯す役割の真ん中と、それぞれ四本、両側の八本のロウソクで、枝付き燭台が出来上がり、この奇跡の8日間を記念し、祝うのです。

興味深い事に、ヨハネの福音書 10 章 22 節にそれが記録されているのです。

22 そのころ、エルサレムで、宮きよめの祭りがあった。

23 時は冬であった。

(ヨハネ 10:22~23a)

このように、イエスの時代、ヨハネの福音書がすでに、1世紀、ユダヤ人達が冬の間、エルサレムで宮きよめの祭りを祝っていたことを記録しています。

ちなみに、ヘブル語の私の聖書では、これを「ハヌカの祭り」と書いています。

「イエスはハヌカを祝ったのか？」とよく聞かれますが、

聖書には、イエスがハヌカを祝った、とは書かれていません。

ただ聖書には、イエスがハヌカの時にエルサレムにいた、と書かれていますが、

イエスが何かを祝ったことを、私たちが知るべきなら、イエスが何かを祝った、と聖書は告げています。

過越しの祭の時、彼らがエルサレムで共に座って祝ったように。

イエスは、祭りの度にエルサレムに行って、祝われました。

そして興味深いのが、イエスがハヌカの時、エルサレムにおられた点です。

ですから彼は、メノラに火を灯しはしなかったかも知れませんが、確かに、その時エルサレムにおられました。

さて、皆さんが理解しておくべきことは、ハヌカは伝統的な祭日です。

すべての祭日が、聖書的なわけではありません。

ユダヤ人達が祝う別の祭りで、プリムと呼ばれるものは、二月~三月の辺りに祝われます。

もちろん、これは、エステル記の話から来ているものです。

ただこれは、七つの主の祭りが記されているレビ記 23 章には含まれていません。

プリムは、それに入っていないですが、しかしユダヤ人はそれを祝います。

ですから、私はとても興味深いと思うのですが、他の多くの民族にも、伝統的な祭日があるでしょう。

しかし、ユダヤ人だけは唯一、神が、私達に覚えていて欲しいと願われる、特定の出来事を、私達が特定の日に記念して祝うよう、主、神から命じられているのです。

ハヌカは、その一つではありません。プリムも、その一つではありません。

ユダヤ人達は、毎年プリムを祝いますが、これは、主が、記念して祝うように命じられたものの一つではありません。

興味深いのは、ユダヤの七つの祭りの全てが、メシアと、世を救う神の計画に関することですが、私達は、ハヌカから何かを学ぶことが出来るのです。

ハヌカには二つの意味があって、

① 一つは、きよめです。

② それから、世の光になること。

イエスご自身がご自分のことを、「わたしは世のひかりです。」と証ししておられます。

私はいつも言うのですが、イエスは、世の基が定められる前からおられました。イエスは、被造物ではなく、創造主の一部です。

彼は、神によって創られたのではありません。ですから彼は、ただ神の御子であるだけでなく、神格の

一部なのです。

残念ながら、イスラエルや世界中の多くの人がクリスチャンだと自称しながら、それでいて、イエスの神性を否定します。

彼らは、イエスが神であり、同時に人であるという事実を否定します。

だから聖書は、イエスのことをメシアの奥義と呼んでいるのです。聖書の中には、いくつかの奥義があります。

イスラエルは奥義、メシアは奥義、教会も奥義、携挙も奥義、いくつかの奥義があります。

奥義とは、知らされていない秘密ではなく、それらは私達に、ある形で知らされていて、それが、違うものに発展するのです。そして、その時に私達は、全体の意味を理解するのです。私達は、創世記 1 章で、メシアの軌跡を見ることが出来ます。

イエスはなぜ、わたしは世のひかりだ、とおっしゃったと思いますか？

それは、太陽や月、星が創られる前に、世のひかりがあったからです。

それらは創造の四日目に創られましたが、世のひかりは、一番初めから、そこにありました。また、聖書は、黙示録 21 章でこう告げています。

神が、新しいエルサレムを創られると、もはや、いらぬものは、何でしたか？

太陽も、月も、星もいりません。

それから彼は、ヘブル語で、とても美しいことを告げておられます。もちろん、これはもともとギリシヤ語で書かれましたが、

皆さんにお伝えすると、ヘブル語で、ここ、黙示録 21 章は、次のように書かれています。

1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。

(黙示録 21:1a)

23 都には、これを照らす太陽も月もいらぬ。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都の“あかり”だからである。

(黙示録 21:23)

ここは、ヘブル語では“メノラ (מְנוֹרָה)”となっています。美しいですね。



クネセット（イスラエル国会）前に立つメノラー

私は、メノラを見るたびに、メシアの七つの御霊について考え、完成を思います。イエスは「完了した」と言われました。

それから私は、世のひかりについて考えます。新しいエルサレムでは、すべてのものが元々の創られた形に回復されます。

そして彼は、いま一度、世のひかりとされます。太陽や月や星は必要ない。覚えていてください。神は、すべてを新しくされるのです。新しい天と、新しい地です。新しい地だけではありません。つまり、星座が変わるのです。きっと、すっかり消えて無くなるのでしょう。そして全てが新しく、全てが異なるのです。そして、ひかりであられるイエスが輝く状況になるのです。眩しく、驚くばかりに。そしてそれまでは、彼が私達のことをこう言っておられます。皆さんのことです。マタイ 5、6、7 章の山上の垂訓です。

14 あなたがたは、世界の光です。

(マタイ 5:14a)

15 また、あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。 そうすれば、家にいる人々全部を照らします。

(マタイ 5:15)

キリストが私達の内にいれば、私達は、世界の光です。私達の内にある、彼の光を輝かせることで、私達の周りを照らすことができるのです。だから聖書は、あなたがたはキリストの使節だと告げているのです。私達は、この世界でキリストを代表しています。もし、イエスが世界のひかりであるなら、そしてもし、彼が私達の内にいるなら、私達は、世界の光なのです。ところで、考えてみてください。何でも、あなたがすること、あなたの言うことは、光か闇、どちらにでもなり得ます。光をもたらすことも、闇をもたらすことも出来るのです。そこで、自分に問うてみてください。私は自分の周りの人にとって、本当に光になっているだろうか？ですから私は、ハヌカについて考える時、私は、私達が行うべき、きよめの重要性について考え、また、私達が放つべき光についても考えます。私の書いた、短いコメントが、フェイスブックの Behold Israel か、Behold Israel のアプリをダウンロードすれば、ハヌカについて、全文をご覧いただけます。以上が、ハヌカについてです。

では次に、中東時事、世界の出来事について、それが現在与えている影響について、お話ししましょう。皆さんの中にはご存知の人もいるでしょうが約 1 週間前、クリミア周辺の黒海で、ウクライナ海軍とロシア海軍との間に、対立がありました。私達に分かっているのは、ウクライナの海軍士官の百人以上が、ロシアによって拘束され、未だにロシアは、彼らを拘留していて、彼らは未だ裁判にもかけられていません。



ウクライナ海軍とロシア海軍の対立

ウラジミール・プーチンは、彼らは捕虜であり、彼らが、彼らに対応する、と言っています。さて、皆さんに言っておきたいのは、どこか遠くで、ロシアに何かがあった時、イスラエルは、我々はこの行動に出ることが出来る、と判断します。皆さんご存知の通り、ロシアの飛行機が、“シリアの砲兵隊によって”撃墜されて以来、ロシアは、我々を非難しています。イスラエルは、シリア上空で活動することは、ほぼ出来ません。皆さんの多くが知らないと思いますが、我々は二つの活動を行いました。しかし大部分は、イランの地位確立に対して、我々が、かつて行っていたほど頻繁ではありません。

さて、2日半前イスラエルは、もう一度、キスワの地域に攻撃を行いました。ダマスカスの東部郊外です。しかし、我々は、そこだけでなく、さらに、イランが地位を確立している、レバノンとシリアの国境沿いも攻撃しました。そして我々は、武器、ロケットとミサイルの地下貯蔵庫を破壊し、ヒズボラの指令センターを破壊、それと、イランがこの地域に建設していた、シーア派民兵の施設を破壊しました。イスラエルは、これを行った同じ日に、世界中に向けて発表しました。

イラン航空の747型大型機がベイルートに着陸し、何かを荷下ろししているのをイスラエルは知っている、と。我々は、偵察機をほぼ毎日飛ばしています。

事実、私が引率していたグループの皆さんと、今日は、ハルマゲドンの谷で、数機のF-16が離着陸するのを見ました。何機かは、偵察を終えて戻って来ており、また何機かは、離陸して行きました。

我々は、レバノン上空を飛行しています。なぜかといえば、あちらで何かが起こっているからです。ヒズボラの指導者が、昨日発表しましたが、彼は、動画を公開し、イスラエルを恐れさせようとして言いました。

「我々はこんにち、我々の持っている武器で、イスラエルにある、ほとんど全ての安全用地、軍用地を攻撃する事が出来る！テルアビブにある、イスラエル軍本部も含めてだ！」

皆さん、彼らが、この手の類のものを発表する時というのは、いつも、彼らが激しい圧力を受けていることを意味します。

彼らは、我々が、もうすぐ攻撃しようとしていると信じているのです。

ハマスが、自分たちがイスラエルの特殊部隊をガザから追い出したと、全世界に伝えているのと同じです。

ただ、彼らが皆さんに言わなかったのは、彼らは現在、あまりにも激しい圧力の下にあって、イスラエ

ルの特殊部隊全部が出ているのかどうか定かではなかったのと、ガザでのダメージの程度すら、彼らには分からないのです。我々は、ガザとハニナの街中で自由に活動して、実際には“バグ”を植え付けました。

私達は、文字どおり、彼らの無線システムを行き交っている、全てのことを聞く事が出来るのです。そして我々は、ガザにあるハマス指導者の家の外を歩いたのです。

彼らは今、安全面での欠損の程度を理解していて、そのため、誰のことも信頼できないのです。

ですから、アラブ人が「我々は、攻撃する事が出来るのだ！」とか、「我々は、これが出来る！」とか、「あれをした！」とかいう時はいつも、彼らが大きな圧力の下にある事が、直ちに分かります。

イスラエルは、アメリカと連絡を取って、ベイルートを攻撃して、全ての貯蔵庫を破壊する以外、他に選択肢はないことを伝えました。

そこでは、イランが普通のロケットに精巧武器を取り付けています。

彼らは、普通のロケットを、非常にスマートなものにしています。そうすれば 10m、10 ヤード以内にある標的に命中させる事が出来るのです。これは、よくありません。

イスラエルはすでにそれに気づいています。それから私達は、アメリカの将官、中央司令部のトップが昨日、ベイルートに到着した事も知っています。

彼は現在、レバノン政権と話をしています。また、彼らは自分達が大変な事態に陥っている事を知っています。これが、現在起こっている事です。

イスラエルとレバノンで戦争が起こると思うか？と、聞かれますが、説明しますと、

私達の預言アップデートや、中東アップデートは全て、エゼキエルについて語っていますが、そして言うておきますが、エゼキエル戦争はすぐそこまで迫っていると、私は信じています。覚えていてください。我々は、すでにこの 20 年間の内に二度、レバノンと戦争をしているのです。

もう一つあるかも知れませんが、それは常に、我々を攻撃するための武器を、彼らが持たないようにするためです。

ただ、皆さん、覚えていてください。

ゲームチェンジャー、これまでイスラエルが独立国家として経験した、どの戦争とも違うもの、それは、エゼキエルの戦争です。

エゼキエルの戦争は、イスラエルの力や強さの為に 勝てるものではありません。

エゼキエルの戦争は、イスラエルが誰からの助けもなく、イスラエルには、勝つための手段も方法も何もないのです。

そこへ、地震や、何かが天から降ってきて、超自然的に神が介入されるのです。

それが、その場で、イスラエルの山々で、イスラエルのすべての敵を滅ぼします。

ロシアであれ、イランであれ、トルコであれ、スーダンであれ、リビアであれ、彼らは、イスラエルの山々の上で、滅ぼされます。

イスラエルによって、ではありません。イスラエルの主、神が、言われます。

「わたしが、イスラエルの敵を打ち負かす、 それを見て、諸国は、わたしが主であることを知ろう。」もし主が、イスラエルが勝つことを許せば、 イスラエルが栄光を受けるでしょう。

しかしもし、主が、彼らのためにそれを行うなら、その時は、神が栄光を受けます。

ですから、私は、レバノンと、多分、ガザからも、新たな暴力が起らない、と言っているのではありません。

一つ、私に言えるのは、私たちが以前経験した暴力も、これから将来経験するものも、どれ一つとして、エゼキエル戦争とは比べものになりません。

エゼキエル戦争は、我々ではなく、神が勝利された事が、明らかになるだけでなく、それは、ここで独立国家としての私達に対する、全戦争の母となります。

そしてそれによって反キリストが興り、この流血している世界の地域に、平和をもたらすことを可能にします。それと、さらに加えて言うなら、これは、イスラエルが独立国家として戦う最後の大戦争になります。

多くの場合、皆忘れがちですが、反キリストが本性を現す時、イスラエルはもはや主権国家ではありません。

ユダヤ人は、逃げなければならないのです。覚えていますか？

彼が、神として人々に彼を拜ませようとするのを、彼らが見るとき、第二テサロニケ2章とダニエル書9章が告げているように、彼が神殿に立ち入り、自分が神であると宣言するとき、その時に、この主権国家イスラエルが終わるのです。

その時、ユダヤ人は逃げるのです。そこは聖書によれば、モアブ、もしくはもっと具体的に言えば、ボツラの地域です。イザヤ書には、セラについて告げていますし、多くの人は、ペトラだろうと言います。ペトラは、ギリシャ語でセラですから。

しかしながら、反キリストはエルサレムで支配します。なぜかと言えば、それは、

彼は、常に偽物だからです。彼はメシアの偽物で、メシアが来て、エルサレムで支配するなら、彼は、自分もエルサレムで支配したいのです。

ですから、間違っただけではありませんよ？エゼキエル戦争の後、イスラエルはもう、独立国家として戦争しません。

エゼキエル戦争までは、またレバノンと対立する可能性は大いにあります。

しかし、どれも、エゼキエル戦争とは 比べものになりません。

次に、アメリカは空母ハリー・トゥルーマンをシリア沿岸のごく近くまで移動させました。

イギリスとフランスの船もまた、この地域にいることも知っています。

それから、ヒズボラは、我々に対して何かを行う前に、10回は考えるようになるだろうと私は思います。

皆さん、ヒズボラは、十分な資金を得られないのです。イランは現在流血しています。彼らの経済は流血していて、彼らの失業率、インフレ率は、激増中、

石油価格は、イランの主要収入源ですが、それが暴落しています。つまり、1バレル\$50で、それすらも、さらに下がるかも知れません。

ですから確実に、北からのロシア、イラン、トルコの連合が、南からリビアとスーダンの協力を得て起こるエゼキエル戦争が、この地域で起こる、次の大きな動きです。

では、なぜ、私が先ほど触れたウクライナとロシアの対立が、それほど重要なのか？

それは、ロシアが、二つの前線を同時に持つわけにはいかないことを、私達は分かっています。

今の時点では、無理が大き過ぎるのです。

そのため、あちらで多くのことが起こっていて、そして、ロシアがあちらで行なったことへのロシアに対する非難がある事、トランプとプーチンとの会談が中止になったことに気づいた時、我々は、今こそ、我々が行動に出る時だと悟ったのです。

ロシアは、反応しないだろう、と。それが、実際に起こったのです。

我々は、さらに多くのことが起こるのを目にしています。

攻撃によって、あちらではいくつかのものが破壊されました。それから我々は、イランがイエメンに地位を確立しようとしているのも目撃しています。

アメリカは、彼らが新品のミサイルを所有していると主張しています。イランが、あちらで実験するために、イエメンに送ったものです。

皆さんの中には、ご存知ない方もいるかも知れませんが、イエメン人は、イラン製のロケットをサウジアラビアに向けて、ほぼ毎日、集中砲火しています。

皆さん、サウジアラビアがロケット攻撃を受けたと、最後に聞いたのはいつですか？

皆さん、聞いたことがありますか？

それが、毎日起こっているのです。毎日毎日、サウジアラビアでは、ロケットがイエメンから飛んで来ています。

誰の手によって？フーシ派の反政府勢力です。彼らは、誰からそれを入手しているのか？

イランからです。

そして彼らは、それをフダイダの港から密輸しています。

そこは、現在あちらで起こっている戦争で、ほぼ完全に破壊された港ですが、完全に、反政府勢力の手に渡っていて、彼らは、イランの積荷がそこを通るのを許しています。

考えてみてください。

イラン人には食べ物がなく、ガソリンもなく、イラン人には恩恵がないのです。

イラン人達は、インフレに苦しんでいます。彼らの通貨の価値の低下に苦しんでいます。

それが、彼らの政権は、イラクやイエメン、シリア、レバノンでテロリストを養っていて、だから、イランの人達は、これほどに苦しんでいるのです。

最後に、お伝えしたいのは、おそらく、皆さんは気づいていないかも知れません。

私達は今日、ガリラヤに行く途中に、それについて話をしましたが、

サウジのジャーナリスト、カショギが、トルコ、イスタンブールのサウジ領事館で殺害された件で、皆さんが、多分知らないのは、現在、宗教戦争が起こっているのです。

クリスチャンとユダヤ教徒の間ではなく、ムスリムとクリスチャンの間でもなく、シーア派とスンニ派ですらなく、スンニ派同士で、です。

現在、穏健派のスンニ派陣営があって、今は、皇太子のムハンマド・ビン・サルマーンが、率いています。

それと、エジプトの大統領である アブドルファッターフ・アッ=シーシー将官、それとももちろん、ヨルダンとアラブ首長国連邦、クウェート、オマーンも導いています。カタールは、中間です。

つまり、ポイントは、彼らは、彼ら自身の過激派イスラムと 戦っているのです。

なぜか？ それは、過激派イスラムは、地域を脅かしているのではなく、彼ら自身の政権を脅かしているのを、彼らは分かっているからです。

何日か前、11月18日でしたが、エジプトで、彼らは預言者ムハンマドの誕生日を祝っていて、エジプトの大統領が、演説でムスリム達に言いました。

彼が言ったことを、お伝えしましょう。

「ムスリムに対する諸悪の根源は全て、我々のイスラムの書物を間違っって解釈している事だ。」

彼は、基本的には、こう言っています。

「我々の同胞は、彼ら自身の宗教指導者達によって、誤った方向に導かれて、彼らは完全に誤解している。」

それから彼は言いました。

「全てのイスラム聖職者は、何でも出来る限りの事をして、シャリアが啓示へと導く道となるように、そして、現代に適応する法律になるように、努力しなければならない。 そうすれば、我々は前進出来るようになる。我々は、エジプトを前進させるだけでなく、ムスリム国家全体を前進させることが出来るのだ。」

皆さん、指導者達は過激派イスラムが、あまりにも時代遅れである事実を批判しているのです。そして彼らは、次の事実において、過激派イスラムを批判しているのです。

彼らの経済は破綻しており、社会は破綻しており、彼らの政治システムは破綻していて、彼らの国々は、ひどく崩壊している事を。

彼らは、国々の問題は過激派イスラムのせいである、と批判しているのです。そして、言います。

もし我々が前進したいなら、我々は・・・

これ、聞いてください。

「我々は、イスラムを違うように解釈しなければならない。」

皆さん、これを理解しなければなりません。

なぜかといえば、ムスリムの指導者側から、彼ら自身が、他の世界にもっと受け入れられたいと切望するのを、私達は目にしているのです。

彼らは、世界の家族の一員になりたいと切望している、彼らは普通に、非暴力主義になりたいと切望しているのです。

どうして、それがそれほど重要なのか？

それは、過激派が打ち負かされた瞬間、イラン、トルコが敗北した瞬間、それからリビア、スーダンが敗北すると、聖書は、サウジが、イスラエルに攻め込む戦争を批判すると告げています。シェバとデダンは、エゼキエル戦争を批判するのです。

私達は、世が移行する様子を目にします。世界大戦から、世界平和へと。

そして、誰でも、どこからでも、何らかの形で、彼らを含む新しい平和と容認、寛容の宗教をもたらす者を探し求めます。

バチカンの代理となって、現在、「ecumenical Unity/ エキュメニカル統一」と呼ばれるものを作ろうとする働きが起こっています。

全ての宗教は共に働くべきで、平和への道を見つけなければならない。全ての道は、神へ続き、全ての

信仰は、同じ神のものだ。

皆さん、お分かりでしょう。すでに、彼らがそちらに向かっていて、そして、それがまさに内側から起こっているのです。非常に興味深いです。

ですから、私が言いたいのは、私達は、確実に二つの事に向かっていきます。

中東での非常に激しい戦争、 それと、大きな欺きの平和。

これは、平和の人によってもたらされるもので、彼は正体を現したあと、戦争の人となります。ですから、私達は今、非常に興味深いことを 目にしているのだと思っています。

それから、皆さんに言っておきたいのは、このアップデートの初めに言ったことですが、彼らは、イエスの名前をあっちこっちにちりばめます。

しかしそれは、我々の主であり、神であるイエスではありません。

それは、ムスリム達の預言者イエスであり、ユダヤ人から出た、良い教師のイエスです。

そして、マリアの隣のイエスです。彼は、クリスチャンであるかも知れない。

それは、あのイエスだったり、このイエスだったりしますが、神ではありません。

キリストの神性は奪われ、取り去られ、根絶されます。ですから、人々は彼を唯一の道、唯一の真理、唯一のいのちであるとは見ません。

人々は、彼をいのちの源とは見ません。だから人々は、彼を、解決の道として見ません。

皆さん、言っておきます。

聖書は、テモテへの手紙と、それから、第一、第二ペテロでも告げています。

敵が内側から働き始めるのを、私達は目にする、と。

そして私達は、クリスチャンと自称する者達がキリストの神性を否定するのを見るようになります。それは内側から起こります。反キリストは主要な世界的指導者になりますが、

しかし聖書は、反キリスト達は以前すでに来た、と告げています。私が間違っていなければ、

ヨハネの手紙第一の2章に、このように書かれています。

第一ヨハネ2章です。こう書かれています。

18 小さい者たちよ。今は終わりの時です。

(第一ヨハネ 2:18)

ここで、なぜ私が自分の著書を「the Last Hour/終わりの時」というタイトルにしたのかが、分かるでしょう。

今は終わりの時です。あなたがたが、反キリストの来ることを聞いていたとおりに、今や多くの反キリストが現われています。それによって、今は終わりの時であることがわかります。

彼らは、私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。

もし私たちの仲間であったのなら、私たちといっしょにとどまっていたことでしょう。

しかし、そうなったのは、彼らがみな私たちの仲間ではなかったことが明らかにされるためなのです。

あなたがたには、聖なる方からの注ぎの油があるので、だれでも知識を持っています。

このように書いて来たのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、

真理を知っているからであり、また、偽りはすべて 真理から出てはいないからです。

偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。
御父と御子を否認する者、それが反キリストです。

23 だれでも御子を否認する者は、御父を持たず、御子を告白する者は、御父をも持っているのです。
(第一ヨハネ 2:18-23)

つまり、結論はこうです。

もし、あなたが彼らを切り離して、御父と御子は、異なる二つのものだ、御父の中に御子はなく、御子の中に御父はない、と言うなら、イエスは

「あなたはわたしを見たのなら、神をも見たのです。」

と言われました。トマスは、イエスに

「私の主、私の神」と言いました。

イザヤは、彼の名前は、「不思議な助言者」「永遠の父」と言い、そして「力ある神」と呼びました。

そしてもちろん、私達の知っている通り、テトス 2:13 には、こうあります。

13 …大いなる神であり私たちの救い主であるキリスト・イエスの栄光ある現われを待ち望む…
(テトス 2:13)

私達は理解しなければなりません。

内側から、こういった人達が現れ、イエスの神性を否定します。

事実、異端・カルトを見分ける、一つのメインの方法、それが、本当の信者であるかどうかを見分けるには、いつも、その人がイエスの神性を信じているか、聞けば分かります。

エホバの証人は、イエスの神性を信じていません。ほかにも多くが、信じていません。

彼らにこれらの聖句を見せると、彼らは、これらを押しつけます。

皆さん、もし彼が創造主であられ、被造物でないなら、彼は、ただの御子ではあり得ません。分かりますか？彼が、神ではない事など、あり得ないのです。

ヘブル語で、「一つ」は、「אֶחָד (echad)」

4 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。

(申命記 6:4)

一人、「אֶחָד (echad)」という言葉は、複合した一つのものです。

わたし達は、個人であるが、ひとりとなり得る。これが、אֶחָד echad です。

そして神が、イエスについて言われたとき、「これは、わたしの愛するひとり子」と言われた時、彼は、「אֶחָד (echad)」とは言われませんでした。

「Yachid」です。

神には、子供は、ひとり以上いませんから。ひとり子です。

また、神がアブラハムに「あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを」と言われた時も、主は、イシュマエルがいることもご存知でしたが、約束の子は、神の中ではイサクで、ひとり。「yachad」です。

「Echad」は、複合体のひとつ。

そして神格は、三位一体は聖書にはありませんが、私達は、神が肉体をまとして世に来られたのを見ます。

それから、彼が、霊として私達の中に住まわれるのを見ています。

そして、彼が御父として、天から支配しておられるのを見ています。

だからヘブル語で神の名は、いつも、複数形なのです。

エロヒムは複数形、アドナイも複数形、創世記では、「われわれの・・・」となっています。

ですから皆さん、イエスの神性を信じていない人がいるなら、その人は、真のクリスチャンではありません。

事実、それは危険な道ですよ。

なぜなら、最初は、「私は、イエスの神性を信じない」と言うところから始まって、

それから、「パウロの解釈を信じない」となり、そこから続いて、「神の御言葉の半分は信じない」となります。

自分が何を信じたいのか、自分で選ぶのではありません。すべては書かれていて、すべてでひとつです。

これは、重要な事です。

彼は世界のひかりであり、彼は世界の創造主、彼は世界の支配者で、彼は戻って来て、世界を統治します。

聖書には、

22 父（神）は…すべてのさばきを子にゆだねられました。

(ヨハネ 5:22)

とあります。ですから皆さん、私達は確実に、世界が最後の時間への道を行き始めたのを見ています。

なぜかといえば、終わりの時だからです。

キリストが唯一の道であり、唯一の真理、唯一のいのちであることを否定するようになります。しかしそれ以上に、御子と御父が一つである、という繋がりを否定します。

はさて、ハヌカについても話しましたし、

ウクライナとロシアの対立について、それが、イスラエルの決断に影響したことも お話ししました。

ようやく、イランの標的を上空から攻撃しました。それは、ヒズボラとシリア国内にいる イランの民兵のものでした。

そして、レバノンで起こっていることについても、お話ししました。

また、スンニ派ムスリム界で 起こっていることについても、お話ししました。これは、非常に興味深いことです。

これが、世界が向かっている先をうかがわせています。

以上です。皆さん、約 1 週間半ほどで、私はヨーロッパに飛んで、スロバニアで講演します。それから家族の元に戻って来て、その後、1月の初めにアメリカに飛び、

そこで、「Proximity/近接」という名の 素晴らしいカンファレンスがあります。

「Proximity」は、カルバリーチャペル・タスティンの預言カンファレンスです。 cctustin.org を訪れて、登録してください。

そこで詳細がご覧いただけますが、会場は、カルバリーチャペル・タスティンではなく、カルバリーチャペル・サンタアナです。

講師は、Jan Markell と、 Jack Hibbs 牧師、Barry Stagner 牧師と私の四人です。
 素晴らしいカンファレンスですので、参加ご希望の方は、CGtustin.org でお申し込みください。
 それから私は、フィリピンに行って、New Life Center of Alabang で連日教えます。
 日曜日、水曜日、木曜日、金曜日メッセージして、それから、ダヴァオに飛んで、フィリピン、ミン
 ダナオのダヴァオ南部の町で、「Awaiting His Return」カンファレンスを行います。Praise Revival
 Church の主催で、ダヴァオ市内の SMX コンベンションセンターで行います。非常に素晴らしいカンファ
 レンスが待っています。ご希望の方は、インターネットでご登録ください。

皆さん、ニュースレターと、週一回のディポーション「Bible Bites」をウェブサイトよりご登録くださ
 い。Beholdisrael.org です。

それから、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ユーチューブで、Behold Israel をフォロ
 ーしてください。

また、短い聖書のメッセージもあって、ミレニアル世代にピッタリです。彼らは5分以上のものには、
 興味を示しませんから。そこで、「Amir's Bible Bites」をフェイスブックと、インスタグラム、ユー
 チューブで作りました。これは、短い一口サイズで、シェアするにはとても良いのです。1分だけだっ
 たり、1分半の時もあったりして、これらは、私達がコメントリーを書いたりするものです。

ですから、全てのソーシャルメディアで、「Amir's Bible Bites」をチェックしてください。

皆さん、いつものように、楽しい時間でした。では、アロンの祝福で終わりましょう。

皆さんを祝福します。と言っても、私が皆さんを祝福するのは、皆さんが民で私が祭司だからではあり
 ませんよ？全く違います。聖書は、私達が神を信じ、そして私達が彼と共に死ぬなら、私達は、彼と共
 に統治し、そして私達は祭司であると告げています。

私達は、王である祭司です。王国の祭司です。ですから、祭司から祭司へ、私は皆さん全員を祝福した
 いと思います。

ヴェイシエメレハー	アドナイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבַרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וְיִתְנֶה	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יְשָׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るよう	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー	アドナイ	ヴェイシエメレハー				
ヤーエール	アドナイ	パーナーヴ	エーレーハー	ヴィーフネッカー		
イッサー	アドナイ	パーナーヴ	エーレーハー	ヴェヤーセーム	レハー	シャーローム

24 主があなたを祝福し、あなたを守られま
すように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵
まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安
を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

イエスは言われました。

33 わたしが、これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたが、わたしにあって平安を持つた
 めです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世
 に勝ったのです。」

(ヨハネ 16:33)

アーメン！ありがとうございます。God bless you! ティベリアスのガリラヤ湖より、シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ヘブル語「ハヌカ」「メノラ」の表記 : Wikipedia 「ハヌカ」、「メノラー」

西壁で、5本目のろうそくを点灯するネタニヤフ首相。右端はフリードマン米大使 : Facebook Prime Minister of Israel “Prime Minister Benjamin Netanyahu lights the 5th Hanukkah candle with US Ambassador David Friedman, and IDF soldiers at the Western Wall in Jerusalem.” 2018.12.6

クネセット（イスラエル国会）前に立つメノラー : ブリッジズ・フォー・ピース ティーチングレター 「神のともしび、人類の光—メノラーの神秘—」 2003年12月号

ウクライナ海軍とロシア海軍の対立 : abc NEWS “Ukraine says Russia has seized 3 of its navy’ s ships after firing on them near Crimea” Nov. 25, 2018